

●**ご近助づきあい**

- ・場所だけでなく、連絡先が必要

●**子育て支援**

- ・毎週は厳しいのではないか
- ・情報をどう発信していくのか
- ・保育士資格のある方にはいてほしい

●**おしゃべりカフェ**

- ・運営する人はだれか
- ・会場が寂しい感じ、カフェっぽくできないか
- ・飲食ができるようにしたい

●**多世代が集まるランチ会**

- ・準備のための打合せが必要（献立を決めるなど）
- ・今の集会所では料理、飲食ができない
- ・事前に参加人数を把握しておく必要がある
- ・ランチだけだと女性に偏りそう

- ・ランチ会とゲームコーナーそれぞれにリーダーが必要

●**ゲームの会**

- ・ルールを知っている人を探せるか
- ・男性が参加しやすくなるような役割づくり

●**地域の居場所**

社協やあんすこの方に相談できるとよい

●**手芸部**

- ・季節によってつくりたいものが変わる
- ・プログラムをつくれるとよい
- ・やりたいと声を出せるしくみがまだない

●**まちの応接室**

- ・会員制などにする必要がある
- ・空いている時間帯を整理して知らせるなど、運営者が必要

●**地域の情報や活動情報の発信**

- ・すでにやっている活動のことが知られていない
- ・さらに地域の情報を集められると良い
- ・活動のスケジュール一覧表や、チラシを回覧板でまわしたり掲示板に貼ったりできないか
- ・そもそも施設が知られていないので、多くの人の興味があることを実施する
- ・部活動のラインナップを決めて、スケジュールが事前にわかるように

●**既存の活動も大切に**

- ・新しい活動を立ち上げる時に、既存の活動がないがしろにされていると誤解されないよう、既存の活動も大切であるとしっかり伝える

●**集会所のルールの見直し**

- ・既存のルールが利用率向上の制約になっていないか、部活の前提として方針を検討する
- 例) 音について問題がおきたから一律禁止ではなく、時間帯によって制限を変えるなど工夫の余地はある
- 例) 飲食はどこまで OK か、ゴミを残さないようにするなど、関連したルールの整備を行う
- 例) 演劇の利用はニーズはあるので、禁止ではなく利用ルールを見直すことで利用率をあげることができるのではないかと

●**運営委員会や協議会のようなくみ**

- ・たとえば「おしゃべりカフェ」で出た「やってみたいアイデア」を調整し実現する人が必要
- ・羽根木集会所独自の運営主体が立ち上がれば多世代の人が関われるようになっていくのでは
- ・「やれる人がやる」ではなく、実行委員会があって、企画をくみだてる

- ・「参加者」から「主催者」になれるようにする
- ・それぞれの人が何かしらの責任をもって、みんなが自分事として出来るようにする

●**運営委員会や協議会の役割**

【企画】全体スケジュールを組み立てる。参加者を募る

【資金】鍵の開け閉めを運営委員会で行うことで、活動費を得る。

- ・会費を払って様々な活動に参加できるようにするのはどうか

●**集会所の設備上の課題**

- ・「ようこそ感」がない入口（フラッと入れる感じがしない）
- ・中で何をやっているのか分からない
- ・利用しているグループ間の交流が少ない（個別に人の交流はある）
- ・道具は集まりそうだが置いておく場所がない
- 例) 輪投げの台
- 例) 麻雀パイのセット、碁石、囲碁の盤などは持っている

- ・和室にカーペットなどを敷きたい

- ・昼の利用率が低い

- ・給湯室が汚い

●**けやきネットについて**

- ・けやきネットに登録はしていても、インターネットが苦手で羽根木集会所の予約方法が分からないという人がいる（インターネット形式になってから分からなくなった）

●**「地域の部活動」の場所の確保**

- ・特定の曜日は一日部活動のための時間とするのはどうか

羽根木区民集会所 利活用作戦会議 第3回のまとめ

羽根木区民集会所を地域の交流や活動を豊かにしていく場所とするため「第3回羽根木区民集会所利活用作戦会議」を開催しました。

第3回目は、1回、2回の意見やアイデアをもとに、「地域の部活動」として取り組んでみたいもの、それを具体的に実現するための方策「地域の部活動実現ノート」を考えました。それぞれのグループから出されたアイデアをもとに、全員でシール投票を行い、具体的に取り組みたい内容を検討しました。

【今後について】

地域の部活動の具体化にむけ、区が羽根木区民集会所についての方針を調整・検討しま

第3回のようす



日時 2024（令和6）年12月8日

10時～12時

場所 新代田区民集会所 体育室

参加者 17人

テーマ まずは「ここから」自分たちができるお試し活動を検討！

す。方針が固まりましたら具体的にできることから始めてみることにしました。

「利活用作戦会議」の3回の流れ

第1回 11/9(土) 10～12時	第2回 11/24(日) 10～12時	第3回 12/8(日) 10～12時
羽根木地域のこんなつながり、こんな活動 これからどんな活動やつながりを作りたいですか？	「こんな使い方ができたらいいな」を考えよう！ 使い合う仲間や知り合いを増やすには？	まずは「ここから」自分たちができるお試し活動を検討 利活用計画をつくってみる

区で方針を調整・検討



できることから実現しよう！

「地域の部活動 実現ノート」を みんなで書いてみました

地域の部活動を実現するために「やりたいこと・テーマ」「活動の内容」「部活動の概要（メンバーは？活動日は？時間帯は？リーダーは？など）」「実現に向けた手順や気になること」について話し合いました。
出されたアイデアをもとに、お互いにシール投票をして、参加者が何に興味があり何からやってみたいと思っているのか確認しました。

●ひとりでもふらりと来て集まれる居場所

おしゃべりカフェ

羽根木で楽にくらそう会（案）

- おしゃべりしながら「企画」アイデアが出るかも
例）ひかる君を語る会やろう！→書道をしてみたい
→講座のキャッチコピーは「ひととき紫式部になってみませんか？」などアイデアがでるかも
- ちょっとコーヒーとケーキ、軽食で
・食べるものが出せるといい
→いつもの仲間と違う人に会えるのがいい
- 実施イメージ：平日の午後

10 票

多世代が集まるランチ会

みんなで集まってランチを食べる

- 親子（幼児）高齢者など多世代が集まれるように
・楽に継続できるスタイルに→その場で作っても、持ち寄りでも、買ってきたお弁当でも OK
→汁物だけ作ってはどうか
- ・ランチした後にお茶やコーヒーを出す
- ・ゲームコーナーを併設して、男性でも来やすいようにする
- 実施イメージ：月1回 11時～15時くらい

9 票

ゲームの会

男性を引っ張りだそう！

- 男性も来やすいように役割をつくってきっかけづくりをする
- ・マージャン
- ・輪投げ
- ・オセロ
- ・囲碁将棋
- ・お茶・コーヒー
- ランチ会と同時開催が良いかも！

7 票

手芸部／手芸入門編

手芸をしながらおしゃべり

- 家にある不要なものをリメイク
- ・保育園にもっていくバックやぬいぐるみ
- 家にある材料を持ち寄る
- 簡単なものを教えあう
- ・裁縫が好きな人がいる
- ・先生がいるのではなく教えあう
- 実施イメージ：月1回 午前、午後

4 票

地域の居場所

行けば一人じゃない、何をやってもいい

- 話をするきっかけを提供する
- ・社協やあんすこの方がいて相談をできるようにする
- ・フレキシブルに使えるようにする
- 実施イメージ：月1回

5 票

ご近助づきあい

小さな困ったを言える場所

- 自助→「近助」→公助につながる助け合い
- ・お茶を飲みながら
- ・引っ越してきたら最初にふらりとこれる場所
- ・誰に聞いたかわからないが、この場所にすればよいと思える場所にする。
- 例）ゴミ出しのルールを知ってもらう
- 例）雪かきの拠点

15 票

子育て支援

未就学児を対象にサポート

元々子育てをしていた世代による部活

- 支援を通しての交流を実現
- ・情報や物の交換を行う
- ・相談が出来るようにする
- ・ベビーマッサージのようなイベントを不定期で行う
- ・普段使いの場所とする
- ・来ている人たちが自主的にイベントを開催するようになると良い
- 実施イメージ：月1回広めの時間帯で

12 票

お気軽スポーツ会

午前はストレッチ、午後は運動

- 活動のきっかけ、たのしければサークル活動に
- ・ミニボッチャ
- ・モルック
- ・ストレッチ
- 実施イメージ：月1回 1日

4 票

まちの応接室

個人でも利用できる

- 少人数の集まりの時に
- リモートワークの時に
- 勉強部屋として
- 運営者が必要



1 票

読書会

- ・地域の人が集まって読書会
- ・月1回



ヨガ・ストレッチ

- ・講師を招いてヨガとストレッチ
- ・毎週月と木の夜（各5～6人は募集可）



筆ペンの会

- ・講師を招いて習字
- ・木午後（月1回）

